

2026年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧 (3月23日)

民間奨学金申請要領 返還支援事業

※民間団体等奨学金の申請方法について、必ず申請要領を確認のうえ手続きを行ってください。 →→ [URL](#)

※地方公共団体等の奨学金返還支援事業についてはこちらに掲載しています。 →→ [URL](#)



○募集要項の請求先について
「大学」と記載されている奨学金→学生支援チーム①番窓口へ取りにきてください。
各団体名が記載されている奨学金→各自でHPからダウンロードしてください。

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限
推薦枠型	2026年度 日清食品・安藤百福Scholarship	①食科学に関連する研究を行い、食科学の発展に貢献する研究者をめざす大学院生(修士・博士課程は問いません) ②日本国籍を有し、日本の大学院に在籍中の方 ③学業、人物ともに優秀かつ健康で、学資等の経済的支援を必要としている方 ④就学及び生活状況を当財団に毎月報告、年度末に当財団指定の書類提出ができること ⑤留学予定の方は応募不可(海外留学を目的とした奨学金ではない為)	可	2026年4月時点で 大学院(修士・博士課程)	年額 100万円	給付	100名程度 当校からの推薦枠 2名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月10日 (16時厳守)
直接応募型	2026年度 公益財団法人 朝鮮奨学会	①日本の大学・大学院に在籍している韓国人・朝鮮人学生(特別永住者証明書・在留カードの国籍表示が韓国もしくは朝鮮) ②成績が優良で、かつ学費の支弁が困難な者 ③学部生:2026年4月1日現在、満30歳未満の者(継続応募者は除く) 大学院生:2026年4月1日現在、満40歳未満の者(継続応募者は除く) 大学院生:日本学術振興会の特別研究員及び次世代研究者挑戦的研究プログラムの受給者は応募不可 *留学生用の奨学金窓口は国際戦略チーム	可 (条件あり)	学部生 大学院生	学部生 月額 2万5千円 修士課程 月額 4万円 博士課程 月額 7万円 (給付期間:1年間)	給付	770名(学部) 110名(大学院)	公益財団法人 朝鮮奨学会	公益財団法人 朝鮮奨学会	4月6日(月)10:00~ 4月27日(月)17:00 (継続生) 4月10日(金)10:00 ~ 5月11日(月)17:00 (新規生)
推薦枠型	一般財団法人 中西奨学会	2026年4月1日の時点 学校教育法による学校において、人物、学力とも優秀で、かつ経済的理由により奨学金の給与が必要であると認められる者に限る。 6分野(工学系、化学系、科学系、情報学系、農学系、環境学系)の学生限定 ただし次の者は出願の資格はありません。 (1)最短修業年限を越えて在学する者 (2)大学に在学する者のうち選科生、聴講生の別科生 (3)同一世帯の生計維持者の前年度の収入金額が税込500万円を超える方 *但し、兄弟姉妹の人数など、特別な事情がある場合は、この限りではない	可	2026年4月1日の時点 学部学生(3年生) 大学院生(1年生) (修士・博士前期) *6分野(工学、化学、科学、 情報学、農学、環境学)	月額 7万円 給付期間: 正規の最短修業年限	給付	本学から1名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	5月8日(金) (16時厳守)
直接応募型	公益財団法人 中谷財団	BME(Bio Medical Engineering)分野~生命科学と理工学の融合境界領域で博士号の取得を目指すとともに、取得後に実現したいビジョンを描き、その実現に向けて日本の大学院(博士前期・後期課程・一貫性博士課程)に入学予定、または在籍中の、日本国籍又は日本の永住権を有する者。 ※学部4年(2026年秋、2027年春に大学院入学を予定している方)の応募も歓迎。	可 (制限有)	規程分野で大学院の博士前期・後期課程に在籍する者、もしくは入学予定の者	博士前期(修士)課程 月額 12万円 博士後期(博士)課程 月額 20万円 給付期間: 正規の最短修業年限	給付	11名程度	中谷医工計測技術振興財団	財団HPにてWeb申請	Web応募サイト申請 4月1日(水)~ 5月25日(月) (15時)
直接応募型	2026年度 日本人対象フルブライト奨学生	(1)日本国籍を有すること(日米の二重国籍者あるいは永住権を持つ者は応募不可。 (2)日本在住の者。 (3)米国で支障なく学術活動が行えるだけの十分な英語能力があること。また、学術的能力のみならず、高いコミュニケーション能力があること。 (4)米国で研究を計画しているテーマに関する専門知識に限らず、広い視野と関心を有すること。 (5)米国で支障なく学術活動が行えるよう、心身ともに健康であること。	不可	2026年4月1日の時点で 大学院生	プログラム毎に異なる のでHPで要確認	給付	約20名	日本人対象フルブライト奨学生	フルブライトジャパン	3/1~5/1 (オンライン登録)
直接応募型	公益財団法人 岡本育英奨学金	①日本国籍を有すること ②国内の大学の経済学部等に在籍する学部3年生であること ③令和8年4月1日時点で年齢25才以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況及び生活状況について適時報告できること ※経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの(例:政治経済学部経済学 科、社会・国際学群社会学類経済学専攻、理工学部経営工学科)	可	2026年4月1日の時点で 学部生 3年生	年間48万円 (7月下旬に年額一括給 付) 給付期間:2年間	給付	10名	岡本育英奨学金	岡本教育財団 事務局	4月1日~ 5月31日 (応募書類必着)
直接応募型	公益財団法人 浜教育財団 浜奨学金(給付型)	以下の①~⑤のすべてに該当すること ①日本国籍を有すること ②国内の大学の教育学部に在籍する学部3年生であること ③応募締め切り日時点で年齢25才以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況及び生活状況について適時報告できること ※教育学部の これに類するものを含む(例:教育文化学部、学校教育学部、現代システム科学域 教育福祉学類)	可	2026年4月1日の時点で 学部生 3年生	年間48万円 (7月下旬に年額一括給 付) 給付期間:2年間	給付	10名	浜教育財団	一般財団法人 浜教育財団	4月1日~ 5月31日 (応募書類必着)
直接応募型	公益財団法人 KIRII財団奨学金	以下の①~⑤のすべてに該当すること。 ①日本国内に居住し、日本国籍を有していること。 ②日本国内の四年生大学及び修士課程大学院で 建築学 を専攻し、2026年4月1日時点で大学3年生又は大学院1年生であること。 ③学業、人物とも優秀であり、勉学に意欲がある者。 ④学資の支弁が困難と認められる者。 ⑤奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者。	可 (条件有)	2026年4月1日の時点で 学部生 3年生 大学院 1年生	月額 5万円 給付期間: (2026年4月1日~ 2028年3月31日)	給付	5名	公益財団法人KIRII財団	公益財団法人 KIRII財団 事務局	5月31日 (応募書類必着)
大学とりまとめ型	公益財団法人TAKEUCHI育英奨学会	①品行方正・志操堅固、健康で学業成績が優秀であること ②学資が豊かでないこと ③機械工学・電気工学・制御工学等の理工系の学生で、長野県出身者 ④2026年4月現在において次の学年に在籍する者 大学院(博士前期課程)1年生/大学2年又は3年生	可	機械工学・電気工学・制御工学等理工系の学生のうち 大学院:1年生(博士前期課程) 学部:2年生・3年生 (2026年4月1日現在)	月額6万円 (2年間支給)	給付	70数名程度	TAKEUCHI1育英奨学会	大学 (学生支援チーム)	4月20日(月) (16時厳守)

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限
直接応募型	公益財団法人 川尻育英奨学金	①日本国籍を有すること ②国内の大学の経済学部在籍する学部3年生であること ③応募締切日時点で年齢25才以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況及び生活状況について適時報告できること ※経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの(例:政治経済学部経済学 科、社会、国際学群社会学類経済学専攻、理工学部経営工学科) 以下の(1)~(4)のすべてに該当する者とする。 (1)本財団の奨学金給付対象大学の4年制学部・学科に2026年4月に入学する者 (2)2026年4月1日時点で年齢20才以下であること。ただし、短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程)から大学3年次に編入学する場合は2026年4月1日時点で年齢22才以下であること(編入学は3年次のみを対象とする) (3)本財団が別途定める後述の学力基準及び家計基準を満たす、品行方正、学業優秀な者 (4)修学状況及び生活状況について適時報告できること (5)ITを通じて社会に貢献するための勉学に励んでいる学生であること 【重要】応募願書にITに関係する今までの取り組みやITを通じて将来実現したいことなどを具体的に記入 生成AIを利用した文章での応募不可	可	2026年4月1日の時点で 学部生 3年生	年間48万円 (7月下旬に年額一括給付) 給付期間:2年間	給付	10名	川尻育英奨学金	川尻育英奨学金	4月1日(水)~ 5月31日(日) (応募書類必着)
大学とりまとめ型	2026年度 CTC未来財団	(1)本財団の奨学金給付対象大学の4年制学部・学科に2026年4月に入学する者 (2)2026年4月1日時点で年齢20才以下であること。ただし、短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程)から大学3年次に編入学する場合は2026年4月1日時点で年齢22才以下であること(編入学は3年次のみを対象とする) (3)本財団が別途定める後述の学力基準及び家計基準を満たす、品行方正、学業優秀な者 (4)修学状況及び生活状況について適時報告できること (5)ITを通じて社会に貢献するための勉学に励んでいる学生であること 【重要】応募願書にITに関係する今までの取り組みやITを通じて将来実現したいことなどを具体的に記入 生成AIを利用した文章での応募不可	可	2026年4月1日の時点で 学部1年生 3年次編入学生	月額6万円 給付期間: (2026年4月1日~ 最長就業年限)	給付	20名程度	CTC未来財団	大学 (学生支援チーム)	4月6日(月) (16時厳守)
大学とりまとめ型	一般財団法人 北野財団	理工系の学部・学科(主に土木、建築、都市計画及び機電関連の学部・学科)で学ぶ 学生のうち、経済的理由で就学が困難となっている学生	可	2026年4月1日の時点で 学部生(2年生~4年生) 【学部生は満23歳以下】 大学院生(修士課程) 【大学院生は28歳以下】	月額 3万円 給付期間: 正規の最長修業年限	給付	25名程度	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム) 推薦書作成依頼必要	4月20日(月) (16時厳守)
推薦枠型	2026年 公益財団法人 伊藤忠兵衛基金	(1)京都府・滋賀県・岐阜県・愛知県以西に所在する国立大学大学院に在籍する日本国籍を有する学生で、総長(学長)等の推薦を受けた者	可	2026年4月時点で 博士後期課程 1年次 4月入学者対象	年額60万円 給付期間:2026年4月~ 2027年3月 (原則3年間まで継続可能)	給付	76名 (内、三重大学からの推薦は1名)	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月24日(金) (16時厳守)
直接応募型	公益財団法人 オークラ育英財団	以下の項目を全て満たしていること。 ①出願する年の4月1日現在、日本国内の4年制学部在籍する大学生(2年生以上)で、原則として年齢が30歳以下であること ②日本国籍を有すること ③学業、人物ともに優秀であり、健康であること	可	2026年4月1日の時点で 学部生 2,3,4年生	月額 3万円 給付期間:(2026年4月~ 2027年3月)	給付	20名程度	公益財団法人オークラ育英財団	オークラ育英財団 事務局	4月30日(木) (応募書類必着)
直接応募型	公益信託 池田育英会トラスト	愛媛県内の高等学校を卒業している方、または保護者(奨学生が成人の場合は、保護者であった方)が愛媛県内に居住している方で、大学(除く短大)または大学院に在学する次の要件を満たす方。専攻の分野は問いません。 A 大学2年生以上の方(2026年度4月1日現在) B 大学院に在学する方。学年は問いません。 C 学業・人物ともに優秀で、経済的支援の必要な方。	可	学部生:2年生以上 大学院生:学年不問	月額 1万7千円 (年に2回、10万2千円ずつ支給) 給付期間:正規の最長修業 年限	給付	5名(予定)	池田育英会トラスト	池田育英会トラスト	3月16日(月)~ 5月8日(金) (応募書類必着)
直接応募型	2026年度 似鳥国際奨学財団	1:日本国内の大学・大学院に在籍する日本国籍の方 (「永住者」または「定住者」の人は応募可能) 2:2026年4月1日時点で23歳以下で学部課程の1.2.3.4年生に正規生として在籍する者。 ※6年制大学の、5年、6年に正規生として在籍する者で25歳以下まで応募可能。 2026年4月1日時点で25歳以下で日本国内の大学の修士課程の1.2年に正規生として在籍 予定の者 3:学業【成績目安としてGPA2.5以上(4.0満点、入学*~2026年3月) 4:昨年(2025年1月~12月)の、世帯収入(保護者)が、900万円以下の者 5:①当財団は他給付型奨学金との二重受給は認めない。ただし、貸与型奨学金並びに大学の「授業料免除(減額)プログラム」「一時奨励金」は認める。	給付型奨学金は不可 貸与型奨学金、授業料減免は可	2026年4月時点で日本国内の大学の1.2.3.4年もしくは修士課程1.2年生に在籍・在籍予定の日本人学生(支給期間中に卒業する人は卒業月まで)	月額 5万円 【IT人材奨学生】に認められた方には学習奨励金を追加支給月額1~3万円)	給付型 (支給期間: 2026年4月~ 2027年3月)	最大350名 (新規・継続合わせて)	似鳥国際奨学財団	似鳥国際奨学財団マイ ページ登録	4月20日(月) (財団HPより マイページ登録)
推薦枠型	2026年度 博報堂教職育成奨学金	2026年4月1日時点で、小学校教員、または、特別支援学校教員、中学・高等学校国語科教員を目指す、人文学部もしくは教育学部の2年次の学部学生。 (第一推薦枠):小学校教員を目指す者 (第二推薦枠):小学校教員、特別支援学校教員及び中学・高等学校国語科教員を目指す者 *小学校教員を目指す者については両方の推薦枠に該当しますが、(第一推薦枠)から優先して推薦します。	給付奨学金との併用は不可	小学校教員、特別支援学校教員、中学・高等学校国語科教員のいずれかを目指す、人文学部/教育学部2年次の学部学生(2026年4月1日現在)	年額 60万円 ※授業料免除を受けている場合、所定の金額を差し引いた金額を支給 ※下宿の場合、生活費が別途支給される場合がある	給付	本学からの推薦枠 第一推薦枠 1名 第二推薦枠 1名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	(窓口):4月10(金) 9時~17時 (郵送):4月10日 (金) 必着 (記録が残る方法で)
推薦枠型	2026年度 中董奨学会奨学金	①2026年4月1日現在、年齢が30歳未満の方 ②2026年4月1日現在、大学学部3年生、大学院1年生(修士、博士課程問いません) ③日本国籍を有し、日本の大学に在学中の方 ④学業優秀、品行方正、心身ともに健康で経済的な理由により学費の支弁に困難している方 ⑤就学及び生活状況を当会SNSで毎月報告、年度末に当会指定の書類提出ができること ⑥他機関の奨学金受給中、または申請予定でも応募できますが、併用不可の奨学金を受給中または申請予定の方は、当会に応募できません。 ⑦留学予定の方は応募不可(海外留学を目的とした奨学金ではない為) ⑧奨学金は最長2年間支給、お一人1回限り、学部→大学院、修士→博士の進学は対象外となります。	可 (条件有)	学部 3年生 博士前期・後期 1年生 (2026年4月1日現在)	月額 5万円 (最長2年間支給)	給付	当校からの推薦枠1名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月13日(月) (16時厳守)

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限
推薦枠型	公益財団法人木下記念事業団 令和8年度学部奨学生(2年生以上)	(1)申請資格を有する大学の学生 (2)学業成績が優秀、かつ、心身ともに健全である者 (3)経済的理由により修学に困難があると認められる者 ・経済的理由の目安とする「主たる生計維持者の年収は概ね次の通りです。 給与収入7,000,000円、事業所得4,900,000円(例:主700万+従300万で世帯年収1,000万は申請可) ・保護者(※1)の保有する資産額の合計が2,000万円未満であること。 ※1 保護者とは、父母又はそれに代わる扶養者を指します。 ※2 資産とは、現金やこれに準ずるもの(金・銀等、預貯金、有価証券)及び投資用資産として保有する土地等の不動産を指します。ただし、自宅として保有する不動産は含まれません。株を保有している場合は、時価で計算をしてください。 (4)他の機関による、給付形式の奨学金の支給を受ける予定のない者 ・授業料の免除・減免及び成績優秀者等に支給される単発の奨学金は可能です。 ・日本学生支援機構の給付型奨学金に採用中の学生は、事業団の奨学生に採用となった際は「停止手続き」を行ってください。 (5)奨学資金規程に定める書類等の提出義務を誠実に履行する者 (6)日本国籍を有する、昼間部に通う学部2年生以上の者。編入による1年目の学生は除きます。 (7)令和8年4月1日現在25歳未満で未婚の者	給付奨学金との併給不可	令和8年4月1日時点で学部生2年次以上(編入による1年目の学生は除く)	年額72万円	給付	三重大学の推薦枠2名以内	大学(学生支援チーム)	大学(学生支援チーム)	4月17日(金) (16時厳守)
直接応募型	一般財団法人飯嶋アイング財団 【特定分野に修学する学生への奨学金】	特定の分野を履修する学部生、大学院生 対象学部:経済学部系、経営学部/商学部系、法学部系、環境科学系、生命科学系、建築系 環境工学系、設備工学系、衛生工学系、宇宙工学系、医療学部系	記載なし	学部生 大学院生	年額36万円 (月額3万円の6ヶ月分を年2回)	給付	全国で33名を上限	一般財団法人飯嶋アイング財団	一般財団法人飯嶋アイング財団	3月31日(火) (必着)
推薦枠型	公益財団法人 フジクラ育英会奨学金	次の全てを満たす者 (1)大学または大学院に在学している (2)学術優秀、品行方正、身体健康である (3)経済的理由により修学が困難な者 (4)日本国籍を有する	可	学部生 大学院生	学部学生 月額3万~6万円 大学院生 月額4万~8万円	貸与(無利子)	三重大学の推薦枠2名以内 ※学部生を優先	大学(学生支援チーム)	大学(学生支援チーム)	4月13日(月) (16時厳守)
推薦枠型	令和8年度 JEES・太平洋セメント奨学金	学内のみの周知に限定されているため、以下moodleへログインして募集要項等を確認してください。 https://lms-m41.mie-u.ac.jp/course/view.php?id=3917						大学(学生支援チーム)	大学(学生支援チーム)	3月27日(金) (17時厳守)
直接応募型	2027年度 公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団	以下のすべてを満たす方。 ①日本国籍を有する方。 ②日本国内に設置されている大学院に修士又は博士の学位の取得を目的として入学することを希望し2026年度に大学院の入学試験を受験する方、または応募時点で左記の教育課程に在籍している方(博士課程【博士後期課程】の最終学年に在籍している方を除く。) ③大学院において食品科学等の分野を専攻し、将来、社会に貢献しようとする意欲を有している方。 ④経済的理由により修学のための奨学金を必要としている方。 【対象外】・社会人大大学院生・公的制度による資金や在籍する大学院の奨学金(給付型)によって合計で月額20万円以上の経済的支援を受けている方、または受けていることが決定している方。 *学部生、大学院生であり、下記のいずれにも該当しなければなりません。 ①日本国籍を有し、心身ともに健康で、全日程(事前・事後オリエンテーション含む)に参加可能な者 ②国際交流・コミュニケーション意欲を有し英語での基本的なコミュニケーションに支障がない者 ③パスポートを所持している、又は研修開始までに取得可能な者 ④財団が課す課題(研修報告書の提出等)を期日までに提出できる者 ⑤令和8(2026)年4月1日の時点で年齢が18歳以上、30歳未満であること ⑥学業成績が優秀であること(下記のいずれかに該当すること) ア.在校生の場合、学校入学時から直近までの学業成績において、GPA(平均成績)が2.4以上 イ.四年制大学の1年生であり、在籍校の成績証明書の取得ができない場合は、高等学校等における評定平均が3.5以上 ウ.高等学校卒業程度認定試験の合格者であること ⑦研修実施日(事前・本研修・事後)に、修学している学校に在籍していること(休学は対象外) ⑧経済的理由により海外研修への参加が困難であり家計支持者の収入状況等から支援の必要性が認められる者 ⑨下記のいずれかの分野に関連する科目を履修できる学科に在籍していること <主な科目>経済学部系、経営学部/商学部系、法学部系、環境科学系、生命科学系、	条件により不可	大学院生 (2027年4月1日時点)	(修士課程)月額 23万円 給付期間:2年間 (2027年4月~2029年3月) (博士課程)月額 23万円 給付期間:3年間 (2027年4月~2030年3月)	給付	30名程度	公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団	公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団	4月1日(水)9時~ 5月20日(水)17時
直接応募型	一般財団法人サン佐藤財団	①日本国籍を有し、心身ともに健康で、全日程(事前・事後オリエンテーション含む)に参加可能な者 ②国際交流・コミュニケーション意欲を有し英語での基本的なコミュニケーションに支障がない者 ③パスポートを所持している、又は研修開始までに取得可能な者 ④財団が課す課題(研修報告書の提出等)を期日までに提出できる者 ⑤令和8(2026)年4月1日の時点で年齢が18歳以上、30歳未満であること ⑥学業成績が優秀であること(下記のいずれかに該当すること) ア.在校生の場合、学校入学時から直近までの学業成績において、GPA(平均成績)が2.4以上 イ.四年制大学の1年生であり、在籍校の成績証明書の取得ができない場合は、高等学校等における評定平均が3.5以上 ウ.高等学校卒業程度認定試験の合格者であること ⑦研修実施日(事前・本研修・事後)に、修学している学校に在籍していること(休学は対象外) ⑧経済的理由により海外研修への参加が困難であり家計支持者の収入状況等から支援の必要性が認められる者 ⑨下記のいずれかの分野に関連する科目を履修できる学科に在籍していること <主な科目>経済学部系、経営学部/商学部系、法学部系、環境科学系、生命科学系、	記載なし	学部生・大学院生 (2026年4月1日現在)	研修費用負担【財団負担】 ア.航空券 イ.宿泊費 ウ.現地交通費 エ.研修費 オ.海外旅行保険 カ.国内交通費その他当財団が必要と認める費用	給付	12~13名(予定)	一般財団法人サン佐藤財団	一般財団法人サン佐藤財団	2月16日(月)~ 3月31日(火)(必着)

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限
推薦枠型	公益財団法人 吉田育英会 マスター21	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国籍を有する方。 ・2026年4月1日現在において、27才未満である方。 ・2026年4月1日現在において、学部4年次に在学中の方。 ・2026年秋季または2027年春季に日本の大学院修士課程(標準修業年限が2年で、修了者に修士の学位が授与される課程。博士前期課程を含む。)または、一貫性博士課程に入学を希望する方 ・進学先において日本の大学院の学籍を有し、自然科学系分野を専攻する方。(工学、農学、医学等の応用科学の分野を含む) ※以下の点に注意してください。 当会の奨学期間中に民間の貸与・給与奨学金との併給は不可(JASSO貸与型は可) 進学先大学院は、在学中の大学院と異なっても構わない(国公立、私立の別は問わない) 家計基準(世帯の家計支持者ならびに本人及び配偶者の収入による応募制限等)はない 	民間の給付・貸与奨学金との併用は不可 (但し、JASSO貸与型は可)	推薦依頼校(三重大)の学部4年生 (2026年4月1日現在)	(1)いずれかから選択 ア:奨学期間を通じて月額8万円 イ:学校納付金として、奨学期間内に合計250万円以内の実費 学校納付金には、入学金、授業料、施設費、実験研究費等の名目で大学に対して半期又は1年毎に納付する費用を含みます。 (2)海外での研究活動支援のための奨学金として、奨学期間内に合計50万円以内の実費	給付	15名 (内、三重大からの推薦は1名)	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月15日(水) (16時厳守)
直接応募型	2026年秋季・2027年春季 公益財団法人 吉田育英会<ドクター21>	<ul style="list-style-type: none"> 次に掲げる要件をすべて満たす方 ・日本国籍を有する方。 ・2026年4月1日現在において、30歳未満である方。 ・2026年4月1日現在において、大学院修士課程(博士前期課程を含む。)または一貫性博士課程の2年次に在学中の方。 ・2026年秋季または2027年春季に大学院博士後期課程(標準修業年限が3年で、修了者に博士の学位が授与される課程)に入学を希望する方、または一貫性博士課程の3年次に進学もしくは編入学を希望する方。 ・進学先において日本の大学院の学籍を有し、自然科学系分野を専攻する方。 ※以下の点に注意してください。 進学先大学院は、在学中の大学院と異なっても構わない(国公立、私立の別は問わない) 家計基準(世帯の家計支持者ならびに本人及び配偶者の収入による応募制限等)はない *他団体奨学金との併給の可否については、募集要項に記載されているのでHPで要確認 	併給可能とする給付奨学金に上限(年間100万円)を設定 日本学術振興会特別研究員(DC1,DC2ともに)は併給不可 民間の貸与奨学金の併用不可(JASSO貸与型は可)	大学院修士課程・博士前期課程・一貫性博士課程の2年次に在学中の方(2026年4月1日現在) または、2026年秋季または2027年春季に日本の大学院博士後期課程(標準修業年限が3年で、修了者に博士の学位が授与される課程)に入学を希望する方、または一貫性博士課程3年次に進学もしくは編入学を希望する方。	・奨学期間を通じて月額20万円 ・学校納付金(学費)として、奨学期間内に合計250万円以内の実費 ・海外での研究活動支援のための奨学金として、奨学期間内に合計100万円以内の実費	給付	5名程度	吉田育英会ホームページ(リンク)	吉田育英会ホームページ(リンク)	4月10日(金) (応募書類必着)
推薦枠型	2026(令和8年度)年度 公益財団法人 川野小児医学奨学財団	<ul style="list-style-type: none"> 次の要件をいずれも満たすものとする (1)身体が健康であり、気質および素行ならびに学業が良好である者 (2)埼玉県または千葉県内の高校を卒業し、日本国内の総合大学医学部、または医科大学で小児医学を志す大学生、および小児医学研究に従事している大学院生 (3)学長、副学長、または学部長の推薦を受けている者 (4)給付の義務(OBOG向け会員サイト登録など)を果たすことができる者 	可 (給付/貸与)	2026年4月時点で 学部学生・大学院生	月額 7万円以内 給付期間:正規の最短期間 就業年限以内	給付	記載なし (三重大からの推薦は2名)	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月24日(金) (16時厳守)
直接応募型	2026年度(令和8年度) 公益財団法人 戸部真紀財団	<ul style="list-style-type: none"> (1)日本の大学及び大学院で修学している者(給付対象期間(2026年4月1日～2028年3月31日)を通して日本国内の大学及び大学院に在籍していること) (2)学部学生(3年生以上)、大学院学生(修士課程、博士課程の者) ※専門職学位課程は研究論文、またはそれに相当する課題等が修了要件になっていることを条件とする。 (3)年齢が2026年4月1日現在で30歳以下の者 ※育児・病気等、ライフイベントその他の理由によりやむを得ない事情を抱えている場合はその限りではない。 (4)対象分野で修学している者 (5)向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である者 (6)学資の支弁が困難と認められる者 (7)奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者 	可 (ただし給付金額が半額になる場合あり)	化学、食品科学(「食全般」に関する研究を対象とする)、芸術学/デザイン学、体育学/スポーツ科学、経営学(ビジネス・公共経営、マーケティング等)の5分野で修学している 学部学生 3年生以上 大学院生(修士課程、博士課程の者) (令和8年4月1日時点で) ※専門職課程は研究論文、または、それに相当する課題等が修了要件になっていることを条件とする。	大学院:月額:7万円(年額:84万円) 学部:月額6万円(年額:72万円(2年間)) *給付期間終了後、実績などを審査し、1年間を限度に継続を認める場合有り ※ただし、公的な支援制度との併用の場合、半額になる可能性が有り(他機関との合計が概ね200万以上)	給付	60名 (内留学生5名) *留学生の方は国際戦略チームへ問い合わせ下さい。	戸部真紀財団(2026年度版は3月初旬にUP予定)電子申請システムから登録後にマイページを取得	戸部真紀財団 【4/17(金)16時までに大学に提出書類一式を持参して推薦書作成を依頼すること】	「Web〆切」: 5月8日(金)23:59 「郵送〆切」: 5月12日(火) (財団へ必着) の両方での提出が必要
直接応募型	2026年度(第8期) 公益財団法人 サカタ財団	<ul style="list-style-type: none"> 下記のいずれにも該当するもの 2026年4月1日時点にて、以下のいずれかに該当する日本国籍をもつ学生とする。 ①大学に在籍する大学2年生に在籍するもの ②大学院に在籍し、修士課程1年生、または博士課程前期1年生に在籍するもの ③一貫性博士課程(5年制)の1年生に在籍するもの 当財団以外の団体から奨学金を受給していないこと 	不可 (日本学生支援機構もしくは三重大の奨学金受給者除く)	学部生(大学2年生) 大学院生(修士課程1年生) (博士前期課程1年生) (一貫性博士課程1年生) (2026年4月1日現在)	月額 7万円 (3か月分一括で支給) 給付期間:2026年7月～正規課程修了年限まで	給付	15名	サカタ財団奨学金	公益財団法人 サカタ財団事務局	4月1日午前10時～ 5月15日午後3時 (応募書類必着)
直接応募型	2026年度 公益財団法人キーエンス財団 「がんばれ!日本の大学生」 応援給付金	<ul style="list-style-type: none"> 次の(a)～(f)の条件を満たす者 (a)日本の大学に在籍する大学生(2026年度の新1年生を除く)である者(4年生の学部・学科生に限る。留学生を除く) (b)2026年4月1日現在、23歳以下である者 (c)最短修業年限にて卒業の見込みがある者 (d)昨年までの「がんばれ!日本の大学生」応援給付金を受給していない者 (e)当財団の奨学生ではない者 (f)勉学に励み、目標をもって頑張っている大学生 	可 (給付/貸与)	2026年4月1日時点で 学部2,3,4年生	30万円 (一括給付)	給付	全国で 5,000名程度 (2026年4月進学者)	がんばれ!日本の大学生 応援給付金	応援給付金	3月2日～ 4月15日(午前10時) 財団HP上にて必要事項をWEB登録(入力)

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限
直接応募型	2026年度 公益財団法人 キーエンス財団	次の①～③の条件を満たす者 ①日本国内の4年制大学に2025年4月入学の新1年生(留学生除く) ②2026年4月1日現在、20歳以下である ③経済的な支援を必要とする * 日本学生支援機構を含む他の奨学金との併用について(併用とは、当財団の奨学金に加え、期間を一部でも重複して他の奨学金を受給すること) ・貸与型奨学金:併用可 ・給付型奨学金:併用不可(ただし海外留学支援の奨学金は併用可) ・国の修学支援制度による授業料免除:併用可 大学独自の制度のうち現金が給付されるのではなく、大学に納付する授業料が実際に減額、または免除される制度:併用可	可(貸与) 不可(給付) *ただし、 ・国の修学支援制度による授業料等減免:併用可 ・大学独自の制度のうち現金給付でなく大学に納付する授業料減額、又は、免除:併用可	2026年4月入学の 新1年生	12万円 (年額144万円) 給付期間:4年間 (最短修業年限)	給付	全国で 1,500名程度	キーエンス財団奨学金	キーエンス財団奨学金	2月2日(月)～ 4月3日(金)(午前10時) 財団HP上にて必要事項をWEB登録(入力)
直接応募型	公益財団法人 センコーみらい財団	・文部科学省の「高等教育の就学支援制度」の対象者(多子世帯を含む)であり、予約された方 ・2026年4月入学予定の新1年生であること ・「THE日本大学ランキング2025総合ランキング」の上位100位位内の大学へ進学する方 ・4年生の学部・学科であること(6年制の学部・学科は除く) * 国立の自宅生は対象外	記載なし	2026年4月1日時点で 学部学生(新1年生)	月額 5万円(学部生)	給付	20名程度	公益財団法人 センコー未来財団事務局	公益財団法人 センコー未来財団 事務局	3月1日(日)～ 4月15日(水)
大学とりまとめ型	2026年度 一般財団法人エス・シー・ビー育英会	①2026年4月1日現在、大学(学部、大学院)に在学していること。 ②原則として化学に関する分野を専攻をしていること。(応用化学、物質科学、天然物化学、材料科学、物理化学、生物学、薬学、農芸化学等) ③学業優秀、品行方正、明朗闊達な者 ④学長、学部長、学科長または指導教員等の推薦があること ⑤日本国籍を有すること ⑥他の奨学団体からの給付については条件なし	可	2026年4月1日時点で 学部生・大学院生	月額 3万円(学部生) 月額 5万円(大学院生)	貸与	若干名	大学 (学生支援チーム)	学生支援チーム	(1次募集)4/24(金)必着 (2次募集)7/27(月)必着 (3次募集)10/23(金)必着 (4次募集)2027.1/22(金)必着 (注)3・4次募集は、就業最終学年申請不可
直接応募型	公益財団法人ナガワひまわり財団	次の①～⑦の条件を満たす者 ①2026年4月1日時点で、日本国内の大学 学部(2～4年)、大学院修士課程・博士(前期)課程に在学する者 ②2026年4月1日時点で、原則として学部生は満23歳以下、大学院生は満25歳以下 ③原則、前年度までの成績(GPA)が、3.00以上の者 ④給与収入世帯の場合、世帯合計収入800万円未満、給与収入以外の世帯の場合は、自営業などその他所得400万円未満の者 ⑤在学する学校長、学長、研究科・専攻長、指導教官等の推薦する者 ⑥学費の支弁が困難と認められる者 ⑦心身ともに優れている者	可	2026年4月1日時点で 学部(2年～4年) 大学院(修士・博士前期課程)	月額 3万円 (年額36万円) (給付期間): 正規の最短修業年限	給付	60名程度(予定)	公益財団法人 ナガワひまわり財団 事務局	公益財団法人 ナガワひまわり財団 事務局	4月1日(水)～ 5月10日(日) (財団HP上にて必要事項をWEB登録(入力)) (注)3月上旬より財団HP上で最新版をご確認ください。
大学とりまとめ型	令和8年度 公益財団法人 G-7奨学財団	①2026年4月現在、大学又は大学院に在籍し、学業優秀、品行方正で、学修意欲があり心身ともに健康であり、将来社会的に有益な活動を目指す者であって、学資の援助をすることが必要であるとみとめられること。 ②日本国籍を有していること。 ③他の奨学金制度との併用・併願は可能(ただし、支給額を調整することがある。)	可(支給額調整の場合も有)	2026年4月時点で 学部学生・大学院生	月額(上限)10万円 (年間上限120万円) 給付期間:1年間	給付	120件程度	公益財団法人G-7奨学財団	大学 (学生支援チーム) (4/3までに学生支援チームへ申請書類一式持参し推薦書作成を依頼すること)	4月1日～4月3日 (16時厳守)
推薦枠型	令和8年度奨学生 公益財団法人シマノ財団	①学業・人物共に優秀で経済的理由により修学が困難とみられる学生 ②年1回の奨学生交流会(大阪)等、当財団の行事に出席できる者及び年2回の状況報告ができる者(交流会は9月中頃を予定) ③他奨学金との併給は差しかえない。ただし、合計額は10万円を超えない範囲とする ④工学部、理学部在籍の学生 ⑤30歳以下の学生 ※原則として継続応募はできません。	可(ただし合計額が10万円を超えない範囲で)	工学部の2年生又は3年生 (令和8年4月末時点)	月額 2万5千円 給付期間:2年間	給付	三重大学の推薦枠:2名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月3日(金) (16時厳守)
直接応募型	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団	国内の大学院で食品科学等の分野の修士または博士学位取得を目指して学ぶ方 (日本国籍を有する方)	記載なし	2026年4月に大学院へ入学予定の者	月額:23万円 (給付期間:標準修学期間) (年額276万円)	給付	30人程度 (修士、博士計)	公益財団法人飯島藤十郎 記念食品科学振興財団	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学 振興財団	4月1日(水)～ 5月20日(水) (応募書類必着)
直接応募型	公益財団法人 日本通運育英会 2026年度奨学生	以下のA～Dの各項目いずれにも該当する者 A 交通事故により保護者等を失うか、又は保護者等が交通事故により重度の心身障害(*1)を負った方。 あるいは、学生本人が交通事故により障害もしくは傷病を負った方。(*2) (*1)保護者等の重度の心身障害とは、次のいずれかに該当することを言う。 1. 障害手帳1～4級 2. 精神障害者手帳1～3級 3. 自動車損害賠償保障法施行令別表第1及び第2の1～7級 (*2)学生本人の場合は、上記(*1)を適用せず、軽度であってもその障害もしくは傷病と交通事故との因果関係が交通事故証明書、診断書等で認められれば、対象となる。 B 2026年4月現在、18歳以上21歳以下の者 C A項を原因として、経済的に就学が困難であると認められる方。 D 学術優秀、品行方正で勉強意欲のある方。	可	学部生 (2026年4月1日現在)	月額 3万円 (年額:36万円) 給付期間:最短修業年限	給付	全国で20名	日本通運育英会奨学資金	日本通運育英会 (4/17(金)16:00までに、推薦以外の提出書類一式を作成のうえ、学生支援チーム①番窓口持参し、推薦書作成を依頼すること)	4月1日(水)～ 5月15日(金) (事務局必着)
直接応募型	マイベスト奨学金	2025年4月1日時点で、日本国内の高校、高専、大学、短大、または専門学校に在籍しており、かつ年齢が20歳以下であること。	可	2025年4月1日時点で 学部生	10万円 (一括給付)	給付	(年間) 合計15名程度	マイベスト奨学金	マイベスト奨学金	【第1回】 6月1日～9月30日 【第2回】 10月1日～2026年1月31日 【第3回】 2026年2月1日(日)～5月31日(日)

は新着情報です。

※ 掲 示 期 限 : 2026年5月31日 (それ以前に内容更新があった場合は、その更新(差替え)時まで)